



## SERVICE INFO

# タイミングチェーンキット 559 0024 30

## 焼結金属からプレス鋼への変更

メーカー： オペル、ボックスホール

型式： Agila, Astra, Corsa / Combo

製造年：

Agila： 2000～2005年

Astra： 2001～2005年

Corsa / Combo： 1998～2005年

エンジン： 1.0、1.2、1.4

部品番号： 559 0024 30

最新の表については、カタログを参照してください。

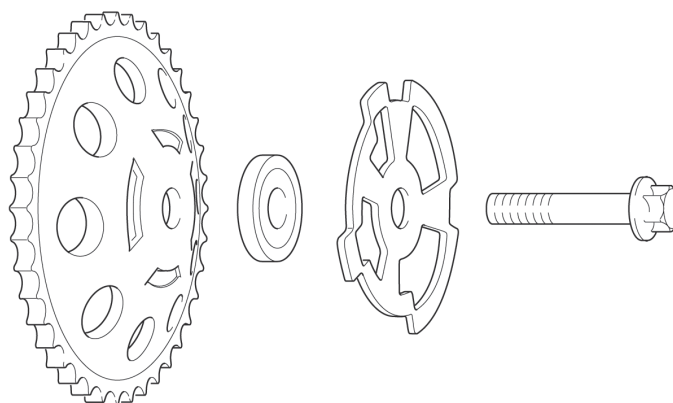


図2：焼結金属製スプロケットからプレス加工されたスプロケットに変更する際の吸気カムシャフトでの正しい取り付け順序

上記のエンジンのカムシャフトに取り付けられるスプロケットには、焼結金属製とプレス鋼製があります。

交換時には、焼結金属製スプロケットに代わって、鋼製スプロケットを取り付けます。

この際、吸気カムシャフトのスプロケットを変更する必要があります。

**焼結金属製スプロケット：**エンコーダホイールとスペーサーリングはそれぞれ別個の2つの部品です（図1）。スペーサーリングをスプロケットに押し入れ、押し入れたスペーサーリングを使用して、カムシャフトセンサーのエンコーダホイールをスプロケット正面のカムシャフトに取り付けます。

**取付手順：**

取り外し後、スペーサーリングを古いスプロケットから押し出します。

図2に示すように、付属の M10x60 固定ねじを使用して、新しいスプロケットと押し出したスペーサーリング、エンコーダホイールを吸気カムシャフトに固定します。エンコーダホイールを再度取り付ける際は、元の向きで取り付ける必要があります。

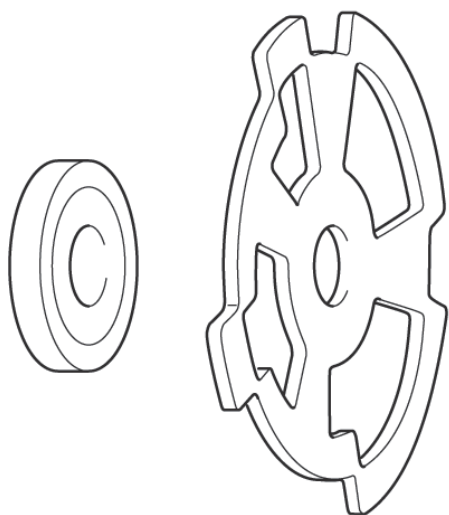


図1：エンコーダホイールと押し出された状態のスペーサーリング

排気カムシャフトの変更は必要ありません。新しいスプロケットを固定する際は、キットに付属する M10x55 ねじを使用する必要があります。

プレス鋼製スプロケット:エンコーダホイールに曲面があります(図3)。そのため、スペーサーリングは必要ありません。

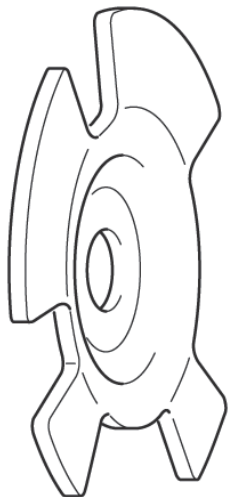


図3: 湾曲エンコーダホイール

取付手順:  
取り外し後、新しい部品を逆の順番で取り付けます。誤った取り付けはほぼ不可能です。キットに付属する M10x55 ねじを使用して、スプロケットを吸気および排気カムシャフトに固定します。

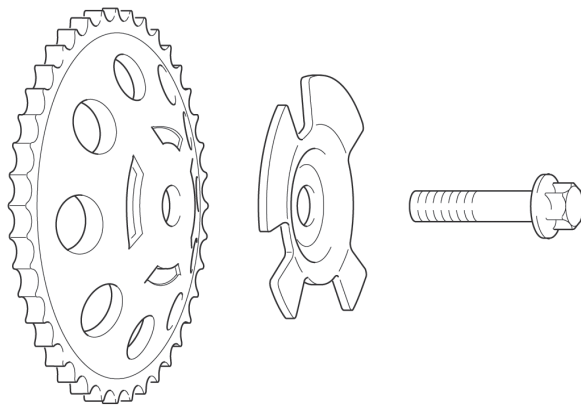


図4: プレス鋼製スプロケットを交換する際の吸気カムシャフトでの正しい取り付け順序

自動車メーカーの仕様を順守してください!